

特設展「作家の絵ごころ 視覚で楽しむ文学展」展示資料一覧

会期 2025年7月12日(土)～8月24日(日) 山梨県立文学館

資料名	*は寄託資料
夏目漱石	津田青楓画 「漱石山房図」軸装 夏目漱石著『道草』1915(大正4)年10月 岩波書店 夏目漱石著『明暗』1917(大正6)年1月 岩波書店 夏目漱石著『こころ』1914(大正3)年9月 岩波書店 夏目漱石画 ジャン=フランソワ・ミレー「鷺鳥を追う少女」模写 夏目漱石著『虞美人草』1908(明治41)年1月 春陽堂 夏目漱石著『草合』1908(明治41)年9月 春陽堂 夏目漱石著『彼岸過迄』1912(大正元)年9月 春陽堂 夏目漱石著『吾輩ハ猫デアル』上編・中編・下編 1905(明治38)年10月～1907年5月 大倉書店・服部書店 夏目漱石著『漾虚集』1906(明治39)年5月 大倉書店・服部書店 夏目漱石 津田青楓宛書簡 額装 1913(大正2)年6月18日
芥川龍之介	芥川龍之介画 風景画 額装 1909(明治42)年 芥川龍之介画 女性像 額装 1910(明治43)年 芥川龍之介旧蔵 スケッチブック 1915(大正4)年頃 芥川龍之介画 亀の素描 一枚物 芥川龍之介自画賛「野茨にからまる萩のさかりかな」 芥川龍之介自画賛「青蛙おのれもペンキぬりたてか」 『黄雀風』見返し原画と扉題字 『支那游記』装幀校正刷り 『黄雀風』装幀校正刷り 芥川龍之介著『黄雀風』1924(大正13)年7月 新潮社 芥川龍之介著『支那游記』1925(大正14)年11月 改造社 芥川龍之介画「紙窓風漸瀝」額装 芥川龍之介画「水虎晩帰之図」額装 1923(昭和12)年8月 芥川龍之介自画賛「抱虚懷欲歩古今」一枚物 芥川龍之介「河童」草稿 芥川龍之介筆「炎天にあがりてきえぬ箕のほこり」短冊
詩歌と美術	飯田蛇笏旧蔵 高浜虚子句稿貼り交ぜ屏風 小川千甕「甲州紀行画卷」1928(昭和3)年11月 高浜虚子筆「遠山に日の当りたる枯野哉」軸装 近藤浩一路画「帰樵」軸装 高浜虚子句・平福百穂画「春の水人の行衛をながれけり」1916(大正5)年3月 近藤浩一路句集『柿腸』1934(昭和9)年1月

近藤浩一路自画賛「光堂扉は裏見せて花は昼」短冊

近藤浩一路 飯田蛇笏宛書簡 1951(昭和26)年1月17日

石井柏亭画「葡萄之図」軸装

与謝野晶子著『みだれ髪』1901(明治34)年8月 東京新詩社

与謝野晶子著『火の鳥』1919(大正8)年 8月 金尾文淵堂

「雲母」ゆかりの画家たち 朝井閑右衛門画「蛇笏・三好達治・龍太」額装

朝井閑右衛門画「雲母」表紙原画 *

長谷川朝風画・松村蒼石句「たわたわとうすら氷に乗る鴨の脚」軸装

長谷川朝風句集『木偶微笑』1950(昭和25)年7月 玉虫発行所

長谷川朝風画・飯田蛇笏句「蝶々にとび去られたる河童子」

長谷川朝風画「雪の道」色紙

長谷川朝風自画賛「新涼の鈴をたまはる猫の胸」短冊

榎本虎山句・三枝茂雄画「花を見て地獄の方へいく佛」軸装

三枝茂雄自画賛「すいちよの青の命は露の中」一枚物

三枝茂雄筆自画賛「焰画くはやがて葬りの備へ哉」短冊

三枝茂雄筆自画賛「暮雲処々放光如来冬に入る」短冊

辻葦夫画「山河」額装 1955(昭和30)年頃

「雲母」第41巻5月号 1955(昭和30)年5月

辻蒨村自画賛「山に来て何を踏みても春隣り」色紙軸装

辻蒨村『樹影』句稿

辻蒨村句集『樹影』1973(昭和48)年7月 雲母社

のむら清六画「雲母」表紙原画額装 *

のむら清六 飯田龍太宛はがき 1968(昭和43)年8月23日 *

のむら清六 飯田龍太宛書簡 1973(昭和48)年11月1日 *

のむら清六 飯田龍太宛はがき 1975(昭和50)年10月28日 *

細田寿郎句・のむら清六画「ゆく夏の泉をのぞく草の中」短冊

のむら清六 細田寿郎宛はがき 1985(昭和60)年12月7日

小川芋銭画「雲母」表紙原画

平福百穂画「雲母」表紙原画

岸田劉生画「君子独居」(「雲母」扉絵原画)

河野通勢画「信州柏原一茶俳諧堂図」(「雲母」表紙原画)

「雲母」第13巻第1号 1927(昭和2)年1月

川端茅舎 飯田蛇笏宛書簡 1926(大正15)年11月11日

大場芳男画「雲母」表紙原画 *

宅間正一画「雲母」表紙原画 *

飯田蛇笏画 北海道旅行のスケッチ 1950(昭和25)年5月 *

飯田蛇笏「えぞ富士は春しぐれする蝶の冷え」短冊

伊藤凍魚編『北方羈旅の諷詠』1951(昭和26)年3月 花樺会
 飯田蛇笏 高室呉龍宛書簡 1930(昭和5)年3月16日
 「雲母」発送用封筒

挿画の美	秋山秋紅蓼自画賛「花はぎつしり咲いてあかつき」軸装
	秋山秋紅蓼自画賛「秋空のあのやまもこの山もふるさと」軸装
	秋山秋紅蓼自画賛「春の白い不二に犬が来てゐる野の道」色紙
	秋山秋紅蓼自画賛「あさつゆのあさかほことにむらさき」一枚物
	秋山秋紅蓼自画賛「かせのあるしたをすずしく行」一枚物
	秋山秋紅蓼自画賛「ひらひらとすずしいかぜにふれる」一枚物

檀一雄	檀一雄画 父 水彩画 *
	檀一雄画 母 水彩画 *
	檀一雄画 自画像 *
	檀一雄ほか「芙蓉帖」1942(昭和17)年7月7日 *
	檀一雄ほか「散菊帖」1942(昭和17)年7月8日 *
	檀一雄著『花筐』1937(昭和12)年7月 赤塚書房
	檀一雄画 自画像 額装 *
	檀一雄画 階段のある駅 水彩画 *
	檀一雄画 風景水彩画 *
	檀一雄画 中国でのスケッチ帳 1944(昭和19)年～1945年頃 *
	檀一雄・母とみ合作「観樹経行」一枚物 *
	檀一雄筆「屋久島哀傷」一枚物 *
	檀一雄画「秋果百穎」額装 *
	檀一雄画「奇泡亭濫齋之図」1972(昭和47)年12月21日 *
	檀一雄自画賛「落日を拾ひに行かむ海の果」色紙 *
	「ポリタイア」復刊第1巻2号 檀一雄追悼特集号 1976(昭和51)年7月

挿画の美	井伏鱒二著 白根美代子絵『トートーという犬』1988(昭和63)年4月 牧羊社
	白根美代子画『トートーという犬』挿絵原画
	萩原英雄画「イソップ絵噺」木版画 1976(昭和51)年

井伏鱒二の絵	井伏鱒二画 絵付け皿 梅ヶ枝旅館旧蔵
	井伏鱒二画 絵付け皿
	井伏鱒二画 富士川流域の絵地図
	井伏鱒二画 太宰治 賛 高田英之助像

山梨ゆかりの作家	山田貞一画『女生徒』表紙原画
	太宰治著『女生徒』1939(昭和14)年7月 砂子屋書房
	太宰治 山崎剛平宛はがき 1939(昭和14)年6月9日午前消印
	太宰治 山崎剛平宛はがき 1939(昭和14)年6月9日午後消印
	太宰治 山崎剛平宛はがき 1939(昭和14)年6月12日消印
	太宰治 山崎剛平宛はがき 1939(昭和14)年6月27日消印

高橋忠弥画 『檜山節考』装幀原画一式

深沢七郎著 『檜山節考』 1957(昭和32)年2月 中央公論社

深沢七郎著 『檜山節考』普及版 1958(昭和33)年5月 中央公論社

谷内六郎画 『笛吹川』装幀原画一式

深沢七郎著 『笛吹川』 1958(昭和33)年4月 中央公論社

山の文学と絵画

茨木猪之吉画・小島烏水序文 「甲斐のやま山」画帖 1935(昭和10)年12月

茨木猪之吉画・小暮理太郎題 「夏草甲州道中」画帖 1938(昭和13)年初秋

足立源一郎画 「ハヶ岳赤岳と阿弥陀岳甲斐大泉にて」額装 1960(昭和35)年3月

足立源一郎画 「瑞牆山新秋 富士見平にて」額装 1966(昭和41)年10月

足立源一郎画 「初夏の甲斐駒日野春にて」額装 1970(昭和45)年

足立源一郎画 「白頭山天池畔大正峯下幕営地にて」額装 1942(昭和17)年8月2日

足立源一郎画 「南アルプス」スケッチ折帖 1931(昭和6)年4月30日～5月3日

足立源一郎著 自装本 『山に描く』 1939(昭和14)年9月 古今書院

足立源一郎著 自装本 『日本の山旅』 1970(昭和45)年4月 茗溪堂